

教科の目標

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 2 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

評価の観点

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 2 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 3 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ力を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

評価の方法

- ア 授業に取り組む姿勢(説明・発表を聞く、発表する、課題に取り組む等)
- イ 提出物(ノート、レポート、作文等)
- ウ 定期テスト、ワークシート
- エ 小テスト(漢字、スピーチ、暗唱等)
- 以上のことを中心に総合的に評価します。

特色ある学習方法

- ア 個人及びグループによる課題解決学習
- イ 図書及びタブレット端末を活用しての調べ学習
- ウ 学年の発達段階に応じた表現活動
- エ 学習プリントの活用
- オ その他視聴覚教材の活用 等

	教材名	学習のねらい
一 学 期	世界はうつくしいと 握手 学びて時に之を習ふ 文章の種類を選んで書こう 書写(硬筆) 漢字1 作られた「物語」を超えて 説得力のある構成を考えよう 文法への扉1 報道文を比較して読もう 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉の力 言葉を選ぼう 言葉1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもつ。 ・登場人物の生き方について考えを深める。 ・「論語」の名言に触れる。 ・文章の種類と特徴を理解する。 ・字形・運筆・点画を理解する。 ・熟語の読み方を理解する。 ・文章の構成や論理の展開を評価する。 ・話の構成を工夫する。 ・文保を生かして伝え合う。 ・伝え方で感じ方が変わることを理解する。 ・俳句の特徴を理解する。 ・俳句を味わう。 ・言葉の本質について考える。 ・「伝わる」表現について考える。 ・和語・漢語・外来語を理解する。
二 学 期	挨拶 故郷 聞き上手になろう 表現を工夫して書こう 言葉2 漢字2 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 合意形成に向けて話し合おう 和歌の世界 古今和歌集仮名序 君待つと 夏草	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩や象徴的な表現の意味を考える。 ・読みを深め批評する。 ・考えを引き出す質問法を身につける。 ・表現の仕方を工夫する。 ・慣用句ことわざ故事成語について理解する。 ・漢字の造語力について理解する。 ・文章を批判的に読み、これからの社会の在り方について考える。 ・説得力のある批評文を書く。 ・互いを認め合って話し合う。 ・和歌集の基礎知識を身につける。 ・古文の言葉の響きを味わう。 ・和歌の世界に親しむ。 ・作者のものの見方感じ方を考える。
三 学 期	誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう 漢字3 文法への扉3	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句に注意して読む。 ・グラフをもとに小論文を書く。 ・三年間の漢字の学習を振り返る。 ・付属語を理解する。